

釜・大街道地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/12/9 18：00～19：00

（全体の質疑を早めに終了し、個別相談窓口で対応）

対象町名：双葉町、南光町二丁目

総参加者数：43名（参加地権者数：32名／54名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（40分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（25分程度）

- ・従前地の用地の買収から移転先の住宅の建設時期に一年間の開きがあるが、一年間の間の住まいはどうすればいいのか。  
⇒現在移転先の蛇田地区等の新市街地の地権者と用地交渉を行っており、合意が出来た時点で工事を行う予定です。開きのある期間の住まいに関しては仮設住宅や民間の住宅に住んで頂きたいと思います。
- ・高盛土道路や矢本流留線は新しく整備するのか。また、現在ある工業港の道路はどうなるのか。
- ・今日の計画はあくまで釜・大街道の復興の案なのか、それとも決定事項なのか。また、意向調査を行うと言っているが、住民の意見はどのように反映されるのか。  
⇒都市計画道路の整備についてはほぼ決定と考えています。その他の住居系ゾーンは住民の皆さんと相談し、計画を行っています。
- ・復興計画はだれが作ったのか。また、産業系ゾーンは日本製紙以外どのような企業を誘致するつもりなのか。  
⇒震災前から事業を行っている企業は再建が可能です。また、産業系ゾーンにある石巻港は工業港としての役割を担っており、紙・パルプ、飼料や肥料を扱う関連企業の誘致、関連企業を支えるトラックや倉庫を集約し整備していく目標があります。
- ・石巻市全体の復興方針の中での今後の釜・大街道地区の位置付けはどうなっているのか説明してほしい。  
⇒石巻全体の計画は「震災復興基本計画案」を作成しており、この方針に基づいて計画案を作成しています。基本理念の「災害に強いまちづくり」、「産業・経済の再生」、

「絆と協働の共鳴社会づくり」に基づき復興、復旧、発展を行っていきます。基本方針の一つ「災害に強いまちづくり」にしていくため、防災体制を見直し、津波に対して防潮堤、高盛土道路の整備を行い多重の防御で市街地を守ることが必要になるのでその計画を説明するために今回説明会を行っています。

- ・市長をはじめとして復興計画案を作ったということだが、市長は説明会に来ないのか。一度も説明会等で見たことがない。  
⇒今日は今後の土地利用の計画の説明ということで、市長は欠席です。復興基本計画案の説明の時に各地区を回りました。
- ・蛇田地区の従前地の単価はいくらぐらいなのか。従前地の土地の価格、分譲の価格、借地の価格もわからなければ動きようがない。等価交換で従前地 50 坪なら整備後 50 坪になるというなら分かりやすい。整備後の単価がだいたいどれくらいかわからないのか。仙台は 40 年間借地料無料といっている。  
⇒交渉が始まったところで蛇田地区の地権者にも単価は示していません。今鑑定士が土地の鑑定を行っているところであり、市内部で検討し、蛇田地区の地権者と交渉していく予定です。新市街地の土地の単価も地権者と交渉中であり正確な金額は出せません。防集は国の補助事業ため、国と相談する前に単価を出すことはできません。
- ・産業系ゾーンに土地を買って建物を建てようとしていた土地があったが、災害前に建物に住んでいなければ買収はしてもらえないのか。  
⇒建物に住んでいた人と同じ土地の評価の基準で評価します。
- ・高盛土道路に一部かかりそうなのだが、土地の買収は全部買収してもらえるのか、道路にかかった一部のみの買収になるのか。  
⇒個別に確認させていただきます。
- ・道路を整備する期間はどのくらいの期間を考えているのか。移転先が整備出来る前に移転しなければならない場合どのようにすればいいのか。  
⇒現在の道路整備の期間は用地買収、建物補償が順調にいくと想定し、スケジュールをたてているため、多少のずれが生じる可能性があります。住居については市で対応していきます。

以上